

文化・スポーツ関係事業の推進について

1 日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会について

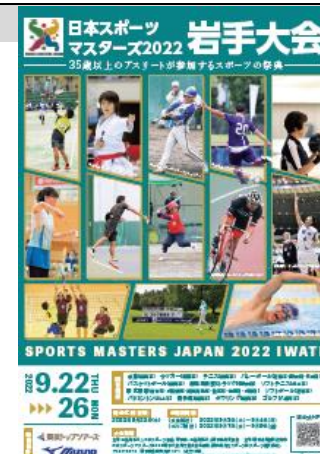
(1) 大会概要

スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、オリンピックや全日本の選手として活躍したトップアスリートと各地域で日々練習を積み重ねてきた選手が同じ舞台で日本一をかけて戦うことができる大会（岩手県では初開催）

会 期	令和4年9月22日（木）～26日（月）	[会期前：水泳9月3日～4日 ゴルフ：9月7日～9日]
会 場	9市4町27会場	
実施競技	①水泳（盛岡市）、②サッカー（遠野市）、③テニス（盛岡市）、④バレーボール（花巻市、紫波町、矢巾町）、 ⑤バスケットボール（盛岡市）、⑥自転車競技（紫波町）、⑦ソフトテニス（北上市）、 ⑧軟式野球（宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町）⑨ソフトボール（花巻市）、 ⑩バドミントン（北上市）、⑪空手道（盛岡市）、⑫ボウリング（盛岡市）、⑬ゴルフ（八幡平市）	
参加人数	選手・監督等：約8,000人参加	
経済効果	約7億5900万円 ※過去大会の平均値	

(2) 取組内容（予定）

- 開催機運の醸成
 - マスターズ開催記念イベント「いわてスポレクフェスタ 2022」（5/5）
 - 北東北三県大型キャンペーンと連携した情報発信（7月～9月）
- 歓迎・おもてなしの実施
 - 開会式での本県の魅力、復興情報の発信
 - RWC2019、東京2020大会聖火リレーのレガシーを生かしたボランティアとの協働
- 安全・確実な大会運営
 - 新型コロナウイルス感染症対策
 - 環境に配慮した大会（各種PRツールへのエコ素材の活用）
 - 共生社会の実現に繋げる大会（アール・ブリュットの活用）



2 3つの世界遺産の連携強化について

(1) 対応の方向性

御所野遺跡が世界遺産に登録され、国内最多となる3つの世界遺産を有することから、各遺産それぞれの取組のほか、3つの世界遺産の連携を深めながら、価値普及や魅力発信、交流人口の拡大等に繋がる取組を強化する。

(2) 取組内容（予定）

- 情報発信
 - 3つの世界遺産の一体的な情報発信
動画の制作とSNSを活用した動画配信、パネル巡回展示、ブース出展 等
 - 展示施設の相互活用
- 交流・周遊促進
児童生徒・ボランティアの交流機会の創出、周遊モデルの作成 等
- 人材育成
世界遺産出前授業、世界遺産教員研修の拡充

